

## DP PCM

「日本の臓器移植法改正案として、A案はC案より優れている」

---

肯定 10班

否定 12班

## 現行法

臓器提供時にのみ脳死を「人の死」と判定

### 臓器提供条件

15歳以上

本人が書面で提供の意思表示

家族の同意

## A案


脳死判定により脳死を「人の死」と判定

### 臓器提供条件

0歳以上

本人が拒否していない場合、提供できる

家族の同意

 : 変更点

## C案

臓器提供時にのみ脳死を「人の死」と判定

### 臓器提供条件

15歳以上

本人が書面で提供の意思表示

家族の同意

より厳密化した脳死判定基準

## 論点

1

年齢基準を早急に撤廃することのメリット・デメリット

2

脳死の判断基準厳格化によるメリット・デメリット

3

生前の本人の同意は必要か？必要でないか？

1

年齢基準を早急に撤廃することのメリット・デメリット

## A案における年齢制限撤廃の妥当性

---

1-1. 小児患者の国内治療が可能になり、コストが下がる

1-2. 小児ドナーの増加を促す

## 1-1. 小児患者の国内治療が可能になり、コストが下がる

### 日本の小児移植患者への海外移植の禁止傾向

#### 【日本人の海外移植行き先の国々の対応】

アメリカ	外国人への移植を全体の5%制限
イギリス、オーストラリア	日本人の締め出し開始
ドイツ	日本人の受け入れ禁止を始めている
中国	2007年から外国人への臓器移植禁止

なぜ？

日本の移植 は 先



海外での臓器



法の臓器 止

現行法において、15歳 の臓器提供を め

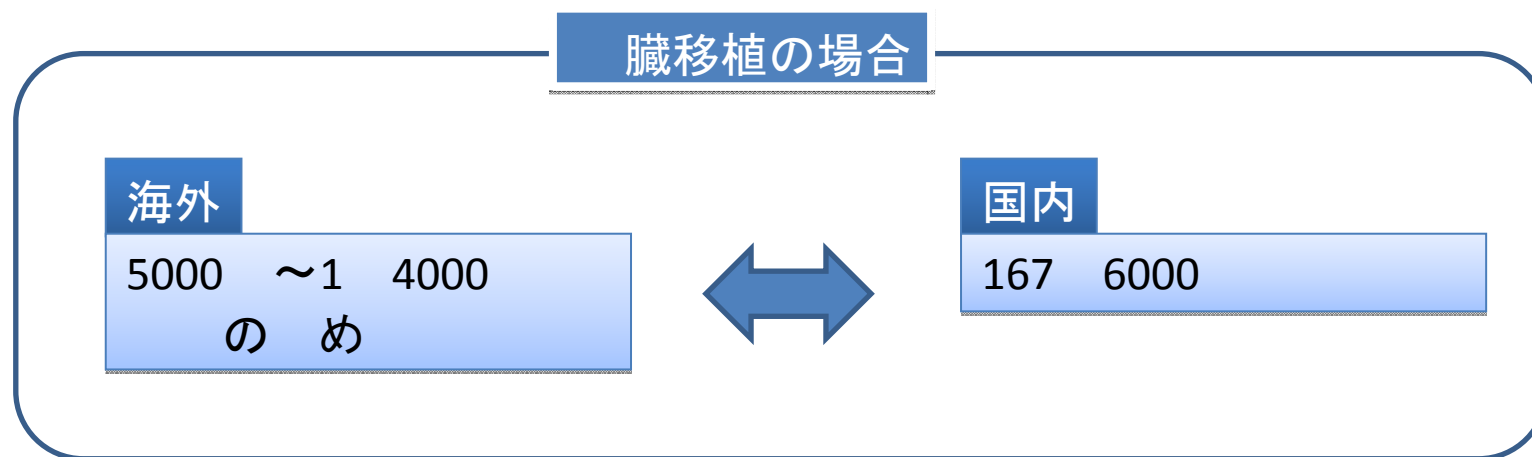
海外に行 しかない

## 1-1. 小児患者の国内治療が可能になり、コストが下がる

現行法において、15歳 以下の臓器提供を 促す

海外に行 かない

2007年 までに522人、 臓移植 116人 人



小児患者の国内治療が可能  
か  
小児患者の を らす

## 1-2. 小児ドナーの増加を促す

	年齢制限	脳死	脳死ドナー
A案	なし	家族同意だけ	増加
C案	15歳以上	本人+家族 基準厳格化	減少

A案は  
年齢制限を なく し、 制を 緩く することで、  
小児ドナーの増加を促すメリットが ある

## 2

脳死の判断基準厳格化によるメリット・デメリット

# A案における脳死判定基準の妥当性

---

2-1. 国内移植 療の が必要で る

2-2. 脳死を めた ない人の も している



## 2-1. 国内移植 療の が必要で る

### 日本

移植者の**3~10%** 移植 療の**50%** を 移植に る\*\*  
 移植 療者に対し、**移植 療者**は か**1%\*\*\***

国 移植学会\*において、移植は 国内に められないと 定め、  
ドナーを 国内で増 し、 国内での臓器移植を増 すよ し、国 移植を  
を 国内に イスタン 200 年5月

国内の臓器提供を る  
 移植 療 の しが必要

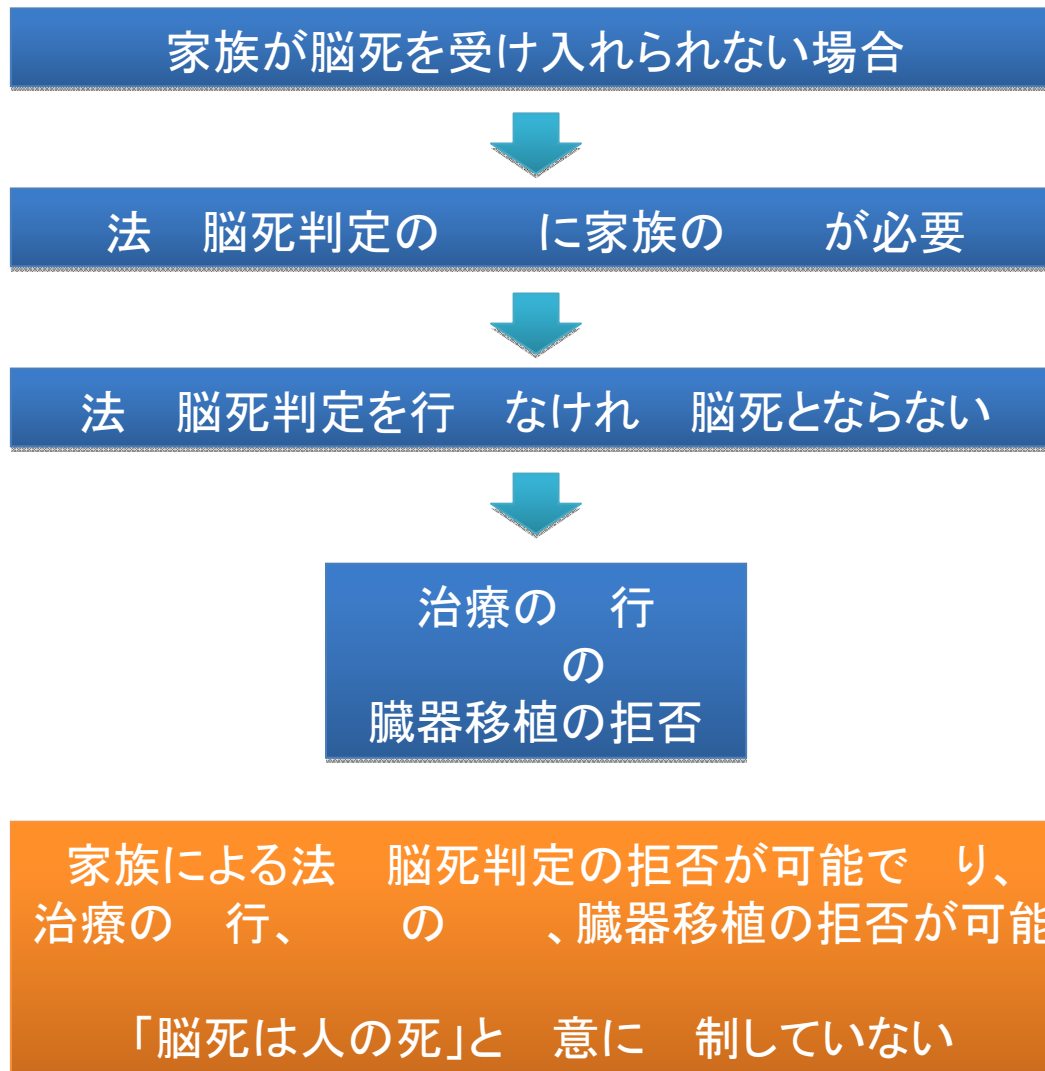
「脳死判定基準の厳密化」は国 移植に 行

\* 国 移植学会 65カ国、3000 以上の会 を する な臓器移植の基 礎臨床に する学 団 体  
 \*\* 移植者 臓移植 2 3 3 中 221 3  
 腎臓移植 2 13 中 1 3  
 \*\*\* 1222 の移植 者に対し、提供者 3 脳死下5 、 止 5 、移植 療は130

日本臓器移植 ット — [http://www.isyoku.net/katudo/2009/memo0903\\_24.html](http://www.isyoku.net/katudo/2009/memo0903_24.html)

臓器移植患者団体 会200 年 [http://www.isyoku.net/katudo/2009/memo0903\\_24.html](http://www.isyoku.net/katudo/2009/memo0903_24.html)

## 2-2. 脳死を めた ない人の も している



生前の本人の同意は必要か？必要でないか？

3

## A案における生前の本人同意撤廃の妥当性

---

3-1. ドナーカード  が  い

3-2. 移植を行いた  ない人の  の拒否

### 3.1 ドナーカード が い

現

12年 で脳死移植は81件

年 3000人が脳死  
ドナーカードを している人:1%



拒否する人を ると、  
脳死による臓器提供者:年 10人



・海外へ臓器移植or生体 移植を受けに行か るを ない

・海外へ臓器移植  
-コストが い  
-現 の臓器受 者を らす  
-WHOの に する

・生体 移植  
- 作 が る 性

A案

ドナーカードがな ても、提供可能  
臓器提供者の増加  
国内での臓器移植の ・国 な れに

## 3.2 移植を行いたくない人の拒否

本人の生前の拒否 家族の同意が

本人の生前の拒否

に受け入れられない人は拒否可能

家族の同意

に受け入れられない家族は拒否可能

の拒否 がる

## 肯定 論点

### 1 A案における年齢制限撤廃の妥当性

1-1. 小児患者の国内治療が可能になり、コストが下がる

1-2. 小児ドナーの増加を促す

### 2 A案における脳死判定基準 の妥当性

2-1. 国内移植 療の が必要で る

2-2. 脳死を めた ない人の も している

### 3 A案における生前の本人同意撤廃の妥当性

3-1. ドナーカード が い

3-2. 移植を行いた ない人の の拒否



- ドナーが増加すると いますが、本当に増加し ますか？  
増加を促す は る C案と て、 りはしない
- を受ける 供を れるか？  
療 で脳死判定をする場合、 に判定する けでな が  
を ことは できる  
A案では、脳死は人の死で るため、脳死と められた場合、 人 となり、  
現行法よりも厳しい を受ける  
を脳死 けの にするのはおかしい
- 脳死を した家族の をど るか？  
本人の同意が ても は きい
- 脳死しても生き けている場合が る  
脳死から意 が る で する けではない  
生き けていると思 、 の場合は治療を けることは可能  
合は？





- 月1日、議 会でA案が したが、C案が を受けている  
は り すか？  
られなか たら 論 を示す
- 国内ドナーが な 、海外への 移植を行 ことに いてはど  
すか？ すか？